

C線上のアリア

著者名： 湊かなえ  
出版社： 朝日新聞社

育った家のごみ屋敷となり果て、久しぶりに戻った美佐。家を片づけていく過程で金庫を発見する。そこからひもとかれる、家族にさえ言えなかった叔母の秘密とは……。朝日新聞連載時から話題！ 湊かなえが新たに挑む、先が読めない「介護ミステリ」。

ゆびさきに魔法

著者名： 三浦しをん  
出版社： 小学館

月島美佐はネイルサロン『月と星』を営むネイルリストだ。爪を美しく輝かせることで、日々の暮らしに潤いと希望を宿らせる——ネイルの魔法を信じてコツコツ働く毎日である。そんな月島のもとには今日も様々なお客様がやってくる。

酒飲まれがちなながらも熱意に満ちた新米ネイルリスト・大沢星絵を得て、今日も『月と星』はお客様の爪に魔法をかけていく。

潮音 第一巻

著者名： 宮本 輝  
出版社： 文藝春秋社

幕末・維新の激動に立ちむかった「富山の薬売り」たちの知恵と勇氣。宮本文学初の大河歴史小説、四ヵ月連続刊行！幕末の越中富山に生まれた川上弥一は、藩を挙げての産業・売薬業に身を投じる。やがて薩摩藩を担当する行商人となった弥一は、薬売りと薩摩藩をつなぐ「密約」に気づき始める

今日もネコ様の圧が強い

著者名： うぐいす 歌子  
出版社： KADOKAWA

超マイペースな2匹の猫、キジネコ様とクロネコ様。飼い主の金之助とスミレは、今日もそんなネコ様たちに振り回されっぱなし。でも、どんなにネコ様がツンツンしていても、かわいくてしょうがない…！そんなネコ様を溺愛する人間と、猫のすれ違いを描いた、読めば思わず笑顔になること間違いなしのコミカルな猫漫画

ゲーテはすべてを言った

著者名： 鈴木結生  
出版社： 朝日新聞社

高名なゲーテ学者・博覧強記は一家団欒のディナーで、彼の知らないゲーテの名言と出会う。ティー・バッグのタグに書かれたその言葉を求める旅の先に、行き着いた場所は……。若き才能が描く、アカデミック冒険譚！

謎の香りはパン屋から

著者名： 土屋うさぎ  
出版社： 宝島社

2025年  
第23回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作

クロワッサン、フランスパン、シナモンロール、チョココロネ、カレーパン…  
焼きたてのパンの香りが広がる〈日常の謎〉ミステリー！

spring

著者名： 恩田 陸  
出版社： 筑摩書房

構想・執筆10年——  
稀代のストーリーテラーが辿り着いた最高到達点＝バレエ小説  
「俺は世界を戦慄せしめているか？」  
自らの名に無数の季節を抱く無二の舞踊家にして振付家の萬春(よろず・はる)。  
少年は八歳でバレエに出会い、十五歳で海を渡った。同時代に巡り合う、踊る者 作る者 見る者 奏でる者——  
舞踊の「神」を追い求めた一人の天才をめぐる傑作長編小説。

捨てたい人 捨てたくない人

著者名： 群 ようこ  
出版社： 幻冬舎

これは、捨てる！ あれも、捨てる……？  
溢れかえる洋服、本、フィギュア、溜め込んだカップ麺、レトルトカレー、非常食、密かに隠した写真に手紙……。他人事ではありません！  
身内の身の回りを“断捨離”しようとする人たちの、右往左往に大共感の連作小説。

### 記紀の考古学

著者名： 森 浩一  
出版社： KADOKAWA

伊勢と出雲、ヤマトタケル、天皇陵古墳……  
『古事記』と『日本書紀』は歴史であると同時に物語だ。遺跡発掘による史料を加え考古学的な検証スタイルを確立した「古代学」の第一人者が日本古代史を読み直す。

### 国民の違和感は9割正しい

著者名： 堤 末果  
出版社： PHP研究所

テレビ、新聞、政府が知らせてくること、周りがみんなやっていること、正しいことだと言われても、モヤッと、何かが引っかかる……

今感じている違和感、その9割は正しいです！  
「お金・人事・歴史」の3つから、違和感の裏側を徹底的に暴き、未来を選び取る秘策を明かします！

### 銀座「四宝堂」文房具店 3

著者名： 上田 健次  
出版社： 小学館

シリーズ既刊が続々重版、待望の第3弾！  
どこかミステリアスな青年・宝田硯が店主を務める文房具店「四宝堂」。品揃えの良さはもちろんのこと、オリジナルのブックカバー制作やインク調合のワークショップなども好評の知る人ぞ知る銀座の名店だ。  
そんな店を一人で切り盛りする硯のもとには、今日も様々な事情を抱えたお客が訪れて——。  
モヤモヤを抱えた人々の心が思い出の「文房具」の魔法でじんわり解きほぐされていく。

### 午前二時不動産の謎解き内覧

著者名： 奥野 じゅん  
出版社： 小学館

ワケあり物件の謎を解く、それが入居の条件「私と一緒に、ワケあり物件の謎を解いていただく。これが、入居の条件です」三軒茶屋のはずれ、深夜二時から四時の間だけ灯りがともる「午前二時不動産」。  
店主の青年・柏原泉は、迷い込んだ客たちにぴったりの格安物件を紹介してくれる。  
ただし、入居に際しては条件が一つ。それは泉とともに、その物件にまつわる謎を解くことだ。

### 「舌」は口ほどにものを言う 漢方薬局てんぐさ堂の事件簿

著者名： 塔山 郁  
出版社： 宝島社

薬剤師試験に3回落ちた薬局の新米店主と漢方医学のプロが、様々な謎に挑む！漢方の豆知識もわかる養生ミステリーです。

新宿で50年以上続く「漢方薬局てんぐさ堂」には、今日も様々な悩みを抱えた患者がやってくる。薬剤師が患者に不可解な忠告をした理由とは？元教師が木の実を恐がるのはなぜ？味覚をなくしたグルメリポーターを襲った悲劇とは？毒草を探す会社員の目的は？薬剤師試験に3回落ちたてんぐさ堂の新米店主と漢方医学のプロが、患者が抱える不調と謎を解き明かす！

### ワスレッポおじさんのきままなさんぽ

著者名： 石津ちひろ  
出版社： BL出版

わすれんぼうのワスレッポおじさんは、散歩にでかけたそのとたん、自分がどうして外に出たのか忘れてしまいます。近所の仲良しのワンちゃんに会っても、名前が出てきません。でも、おじさんは元気に歩いていきます。子どもたちと砂のお城作りに夢中になって時を忘れて、花屋できれいな花々にうっとりして何を買いたかったかわからなくなったり、自由気ままな散歩を続けます。過去は忘れてしまっても、今を存分に楽しみながら——

### 水木しげるの遠野物語

著者名： 水木 しげる  
出版社： 小学館

妖怪コミックの聖典誕生。遠野物語を水木氏が漫画化！

ザシキワラシ、河童、鬼……岩手県遠野市の厳しい自然の中で、人々の想像力が生み出した妖怪たちが、今動き始める！柳田國男氏の名著『遠野物語』は、100年前のベストセラーにして日本民俗学の原点ともなった名著です。これを水木しげる氏がコミック化。格調高い文語体で書かれた原書の魅力を、水木氏ならではの想像力・描写力で完全にビジュアル化し、新たな魅力を作りあげています。

### かいけつゾロリ いただき！！なそのどデカダイヤモンド

著者名： 原 ゆたか  
出版社： ポプラ社

100カラットのきょだいなダイヤモンドがザクザクなる木がある！？リスたちのうさわをきいたゾロリたちは、よこどりしようとしていくことに……。いよいよゾロリが大金もちになるゆめがかなうときがくるのか？ところがゆくてにはとんでもないことがまっかうけていた……。